

一宮町長  
馬淵 昌也

一宮町の公園には、遊具が乏しい、というお声をよく耳にします。いま、遊具は安全面の考慮から、大変高価なものとなっており、なかなか皆さんのご要望にお応えしきれていないのが現実です。

その中で、町民の一人である稲川里恵さんが、昨年、「一宮に複合遊具を「プロジェクト」を立ち上げてくださいました。これは、町で直ちに購入・設置が難しい複合遊具を支援者から寄付を集めて、それで購入・設置まで行い、以後の管理を町に任せよう、というお考えで、仲間の方々とお始めになったものです。わたくしは、当初このお話を伺って、大変ありがたく存じました。本来、公園の遊具は町が購入・設置すべきものです。複合遊具は、一千万円近くする高価なものです。設置要望の多いアイテムなので、本来町が購入計画を立てて買うべきところですが、しかし、厳しい予算状況の中で、住民の皆さんが購入・設置までお力を貸していただけるのなら、本当に助かると思って嬉しく存じた次第です。

結果として、多くの皆さんのご賛同を得て、稲川さんほか実行委員会の皆さんは、年度末までかなりの金額の

寄付を集められました。ただ、必要額満額には達しませんでした。

そこで、改めて町にご相談をいただきました。活動の中で、趣旨には賛同するけれども、寄付するのに、民間ではなく、公共機関が窓口でない、難しい点がある、という声を、何人もの方々、特に事業所の方々からいただいたそうです。そこで、協議の結果、実行委員会で集められた金額を町へ寄付していただき、今後は町も協力して外部からの寄付を受け入れ、そして集まった金額で、一番よい遊具を購入して設置しよう、ということになりました。実行委員会のプロジェクトは、ご寄付賜った皆さんへのお約束として、令和6年度中に実施しなくてはならないそうですので、今年度末の設置を期限として、現在寄付を7月末まで募っているところです。満額集まるか否か、まだわかりませんが、集まった金額で最良のものをあつらえることで合意しています。

これは、新しい住民協働の形であると思います。皆さんにも、ぜひとも本運動の趣旨にご賛同賜り、ご協力を賜りたく存じます。